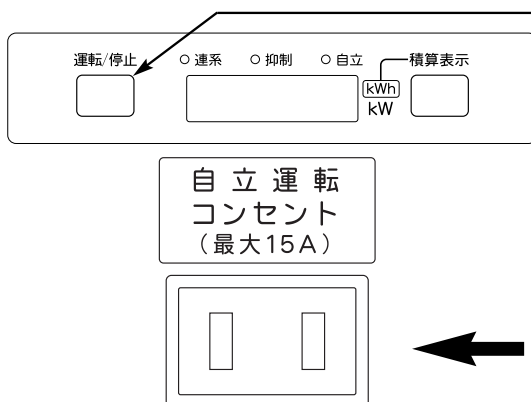


連系運転と自立運転の切り換え

連系運転から自立運転にするには

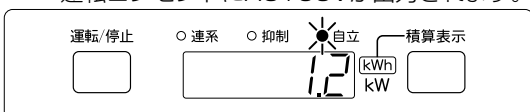
太陽光発電システム専用ブレーカをOFFにすることにより、自立運転に切り換えることができます。自立運転モードでは、自立運転コンセントから供給される電力により、電気製品を使用することができます。



ご注意

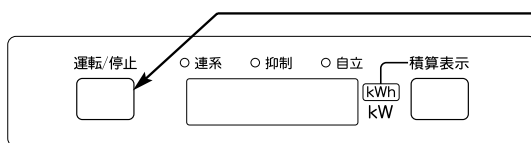
自立運転コンセントへのプラグの抜き差しは、ご使用される電気製品のスイッチを「OFF」にした状態で行ってください。

- 1. 運転/停止** ボタンを押し、運転を停止する
表示が消え、パワーコンディショナは運転を停止します。
- 2. 家庭用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカをOFFにする**
- 3. 運転/停止** ボタンを押す
表示部の自立運転ランプが点滅します。約10秒後に（連系運転モードから自立運転モードに変更）自立運転ランプが点灯に変わり、自立運転コンセントにAC100Vが出力されます。

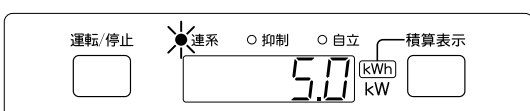


- 自立運転時の電力表示は、自立運転コンセントに接続された機器の消費電力を表示します。

自立運転から連系運転にするには



- 1. 運転/停止** ボタンを押し、運転を停止する
表示が消え、パワーコンディショナは運転を停止します。
- 2. 家庭用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカをONにする**
- 3. 運転/停止** ボタンを押す
表示部がカウントダウンを開始すると同時に連系ランプが点滅し（約5分間）その後、連系ランプが点灯し運転を開始します。



自立運転時のご注意（点検コードは10ページ参照）

- くもりや朝夕など太陽電池モジュールの発電量が少ない場合は、使用する電気製品の消費電力によって運転できず、本体内の保護装置が働く場合があります。保護装置が数回働くと自動的に運転を再開しなくなります。くわしくは、10ページの点検コードをご覧ください。
- 15A以上の電流が流れた場合、本体内の保護装置が働く場合があります。保護装置が数回働くと自動的に運転を再開しなくなります。くわしくは、10ページの点検コードをご覧ください。
- 冷蔵庫のような、連続的に電力の供給が必要な機器には使用できません。
- 最大電力が1,500W以上になる機器には使用できません。
- タコ足配線での使用はおやめください。
- 自立運転コンセントは、最大15A以下でご使用ください。
- 自立運転していても、電気製品を使用していなければ、電力表示は0.0kWとなります。
- 太陽電池モジュールが十分に発電している時でも、洗濯機、掃除機など、モータを内蔵している電気製品は、運転開始時に大きな電流が流れるため、使用できない場合があります。
- 自立運転モードで日没となった場合、翌朝は自動的に連系運転モードが選択されます。太陽光発電システム専用ブレーカがOFFであれば「運転/停止」ボタンを押し、「停止」→「運転」にすることで、自立運転を開始します。

こんなときは

パワーコンディショナや商用電源の状態を点検コード（EまたはFと数字の組み合わせ）で表示します。表示部の点検コードをご確認のうえ、下記の処置に従ってください。

ブザー音は、**運転/停止** ボタンを押すと、止まります。

● 連系運転時の点検コード

1.Eの点検コード（商用電源側）の内容と処置の仕方（ブザーは鳴りません）

これは故障ではありません。	
E 1 }	停電または商用電源の乱れによる運転停止 原因が解除されれば、自動的に運転を再開します。 (表示部がカウントダウンを開始すると同時に連系ランプが約5分間点滅後、点灯に変わります。)
E 14	商用電源が正常になるまでお待ちください。 家庭内の他の電気製品が、正常に使用できる状態であるのにもかかわらず、長い間この状態が継続する場合（家庭用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカがOFFになっていないか確認し、OFFであればONにしてみてください。）または、専用ブレーカが頻繁にOFFになるようであれば、お買いあげの販売店にご連絡ください。

(ご注意) **運転/停止** ボタンを押して「運転」にしたときに自立ランプが点灯する場合は、商用電源が停電しているか、太陽光発電システム専用ブレーカがOFFになっている可能性があります。一旦 **運転/停止** ボタンを押して「停止」にし、停電であれば商用電源が正常に戻った後に、太陽光発電システム専用ブレーカがOFFになっていれば、ONにした後に、再度 **運転/停止** ボタンを「運転」にしてください。太陽光発電システム専用ブレーカが頻繁にOFFするようなときは、お買いあげの販売店にご相談ください。

2.Fの点検コード（パワーコンディショナ側）の内容と処置の仕方（ブザーが鳴ります）

お客さまの使用環境により商品の調整が必要となる場合があります。

こんなときは再度ご確認ください。	
F 1 }	正常にもどれば10秒～数分後に自動的に運転を再開します。 (表示部がカウントダウンを開始すると同時に連系ランプが点滅し、その後点灯に変わります。)
F 36	頻繁に表示するようなときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。
F 57 }	運転/停止 ボタンを押し「停止」にした後に、再度 運転/停止 ボタンを押し、「運転」してください。 正常にもどれば10秒～数分後に運転を再開します。
F 66	頻繁に表示するようなときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

●自立運転時の点検コード（パワーコンディショナ側）の内容と処置の仕方
（Fの点検コードのときのみ、ブザーが鳴ります。Eの点検コードではブザーは鳴りません。）

こんなときは再度ご確認ください。（これは故障ではありません）		
E 88 (E1~E14)	運転中に「E88」を検出したとき	自立運転モードで、太陽電池の発電量に対して、使用する電気製品の消費電力が極端に大きくなっています。 (太陽電池モジュールの発電量以上の電力が必要な電気機器は使用できません。) [運転/停止]ボタンを押し、「停止」→「運転」にすることで10秒程度で運転が再開できます。
	自立運転モードで日没を迎えたとき	翌朝、運転開始は、自動的に連系運転モードが選択されています。 [運転/停止]ボタンを押し、「停止」→「運転」にすることで10秒程度で運転が再開できます。
F 81	過電流検出 (自立運転時)	自立運転モードにて、消費電力の大きな電気製品（入力15Aを超えるもの）を使用していませんか？ (運転開始時などに過大な電流が流れる電気製品も含まれます。) 正常に戻れば10秒程度で自動的に運転を再開します。
F 82	不足電圧検出 (自立運転時)	自立運転モードにて、太陽電池の発電量に対して、接続されている電気製品の消費電力のほうが大きくなっています。 (太陽電池モジュールの発電量以上の電力が必要な電気機器は使用できません。) 正常に戻れば10秒程度で自動的に運転を再開します。
F 83	過電圧検出 (自立運転時)	自立運転モードにて、接続される電気製品の種類等により発生することがあります。 頻繁に発生する場合は、対象となった電気製品の使用は避けてください。 正常に戻れば10秒程度で自動的に運転を再開します。
F 87	自立リレー接続前不足電圧検出	太陽電池モジュールの発電量が不足している可能性があります。 正常に戻れば10秒程度で自動的に運転を再開します。
F 88	自立リレー接続前過電圧検出	太陽電池モジュールの発電量が日射急変等によって不安定な可能性があります。 正常に戻れば10秒程度で自動的に運転を再開します。
F 89	「F81」を8回検出したとき	「F81」を8回検出しました。 [運転/停止]ボタンを押し、「停止」→「運転」にすることで10秒程度で運転が再開できます。
F 90	「F82」を8回検出したとき	「F82」を8回検出しました。 [運転/停止]ボタンを押し、「停止」→「運転」にすることで10秒程度で運転が再開できます。
F 91	「F83」を8回検出したとき	「F83」を8回検出しました。 [運転/停止]ボタンを押し、「停止」→「運転」にすることで10秒程度で運転が再開できます。

(ご注意) [運転/停止]ボタンを押して「運転」にしたとき、連系ランプが点滅する場合は、太陽光発電システム専用ブレーカがONになっていると思われます。もう一度操作に間違いがないか確認してください。(8ページ参照)

●機器が発生する音について
これは故障ではありません

キュー音	制御電源の起動音です。
ジージー音	インバーターの高周波スイッチング動作により発生する音です。
チリチリ音	
チャリチャリ音	
カチッ音	連系用リレーの動作音です。(運転開始時と、停止時に発生します。)

なお、キュー音は朝・夕の日射の少ないときや、太陽電池モジュールが降雪・落ち葉などで覆われていると、しばらくの間発生することがありますが故障ではありません。

●機器の温度上昇について

日射が多く、パワーコンディショナが最大電力付近で運転を続けると、機器の上面など部分的に機器が温度上昇（最大70℃程度まで上昇）しますが、故障ではありません。
ボタン部以外は不用意に手を触れないでください。感電・やけどの原因となることがあります。

●積雪時の運転について

太陽電池モジュール上に積雪があると、太陽光がさえぎられるため発電量が減ります。積雪量がふえてくるとパワーコンディショナが停止することがありますが、故障ではありません。
太陽電池モジュール上の積雪が減れば自動的に運転を再開します。

用語の解説

- **太陽電池モジュールとは**

太陽電池モジュールとは、複数の太陽電池（セル）を直列または並列に接続し、1枚のパッケージに封入し所要の電圧、電流が得られるようにしたものです。

- **接続箱とは**

通常太陽光発電システムでは、複数の太陽電池モジュールを直列接続したものを、接続箱内で並列に接続し、所要の電圧、電流が得られるように構成します。

- **商用電源とは**

電力会社から供給され、一般家庭で使用されている交流電源のことです。

- **電圧上昇抑制とは**

商用電源の電圧が規定の値（電力会社の指示により設定される）を超えたとき、太陽光発電システムは、その電圧を自動検出し、太陽電池の発電量にかかわらず、出力する電力を絞ります。

この時本体の抑制ランプが点灯（点滅）します。

商用電源の電圧が正常な範囲内にもどれば、自動的に発電電力の抑制動作をやめて、通常運転にもどります。

